



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り

令和4年5月17日発行

第4号

(文責 校長 出口雄三朗)

■□子どもたちの「言葉の力」を高める！□■

3年生の国語の授業の「漢字の音読み・訓読み」についての学習の場面で、一つの文の中に同じ漢字で、音読みの言葉と訓読みの言葉を入れて文を考える活動がありました。子どもたちは楽しそうに頭をひねっていました…やがて、「わかった！」の声！ノートをのぞき込むと「音楽(がく【音読み】)の時間は楽しい(たのしい【訓読み】)。」と書いていました。先生が「いいね！」と声をかけると、「まだあるで！」と別のを考え始めていました。

また、朝学習の時間には司書の先生が読み聞かせをしてくれています。子どもたちは静かに聞き入り、だんだんとお話の世界の中に入っていきます。

というように、今年保田小学校は子どもたちの「言葉の力」を高める活動に取り組んでいます。自分の考えを自分の言葉で言える、説明できる…そんな力が高まれば、授業の中で「わかった！」が深まります。「わかった！」が深まれば、うれしくなって、頑張ろうという気持ちがわいてきます。そんな子どもたちになって欲しいと思っています。

生活の場面では、自分の気持ちをぴったりの言葉で言えるようになると、すれ違いや勘違いが減るので人間関係が安定します。

そうしたことを目指して、保田小学校は今年、子どもたちの「言葉の力」を高められるよう頑張っています。



○●体力作りもがんばります！●○

ただいま各クラスの体育の授業では「体カテスト」種目の練習や測定に取り組んでいます。昨年度の保田小学校の子どもたちの結果を見ると、「シャトルラン」や「50m走」といった種目で少し課題が見られました。そうしたこともあり、「体力作り」についても保田小学校は頑張っています。先日も体育の時間には、4年生は反復横跳びを楽しそうに、1年生はボール投げを少し難しそうに頑張っていました。

また、昨年同様「きのくにチャレンジランキング」にも挑戦していきます。「きのくにチャレンジランキング」は県が主催する体力向上プロジェクトで、昨年は保田小学校は「みんなで長縄8の字跳び」にチャレンジしました。3分間で何回飛べるかのチャレンジで、4年生は256回、1年生は120回の記録を残しました。



楽しく体力向上を目指す…今年も頑張りたいと思います！

～児童の活動～

学級園耕運
作業



朝顔種まき

